



Cisco EPN Manager 4.1 へのアップグレード

[有効なアップグレードパス \(1 ページ\)](#) に記載されているいずれかを実行して、Cisco EPN Manager 4.1 にアップグレードできます。

この章では、バックアップ/復元アップグレードを使用して Cisco EPN Manager 4.1 へアップグレードする手順を説明します。

バックアップ/復元アップグレード：現在インストールされている Cisco EPN Manager バージョンのすべてのデータをバックアップし、新しいサーバに Cisco EPN Manager 4.1 をインストールして、新しい Cisco EPN Manager 4.1 サーバにバックアップしたデータを復元します。



(注) Cisco EPN Manager 4.1 のインストールは、Cisco EPN Manager 4.0 OVA/ISO のインストールと、それに続く Cisco EPN Manager 4.1 UBF のインストールで構成されます。

- [有効なアップグレードパス \(1 ページ\)](#)
- [Cisco EPN Manager 4.1 へのアップグレード \(非 HA\) \(2 ページ\)](#)
- [Cisco EPN Manager 4.1 へのアップグレード \(高可用性\) \(3 ページ\)](#)
- [アップグレード後のタスク \(5 ページ\)](#)

有効なアップグレードパス

次の表に、以前のバージョンからの Cisco EPN Manager 4.1 へのインストール/アップグレードに有効なパスを示します。

現在の Cisco EPN Manager バージョン	Cisco EPN Manager 4.1 へのインストールパス
Cisco EPN Manager 4.0	Cisco EPN Manager 4.0 > 4.1
Cisco EPN Manager 4.0.1	Cisco EPN Manager 4.0.1 > 4.1
Cisco EPN Manager 4.0.2	Cisco EPN Manager 4.0.2 > 4.1

Cisco EPN Manager バージョンのインストールの前提条件と手順については、関連する [インストール ガイド](#) を参照してください。

ポイントパッチのインストール手順については、[cisco.com](#) の [ソフトウェア ダウンロード サイト](#) のパッチ ファイルに付属の readme ファイルを参照してください。

Cisco EPN Manager 4.1 へのアップグレード (非 HA)

次のトピックで、標準展開 (非高可用性) で以前のバージョンの Cisco EPN Manager から Cisco EPN Manager 4.1 にアップグレードする方法について説明します。

- [バックアップ/復元アップグレード \(非 HA\)](#)
- [アップグレード後のタスク](#)

高可用性展開でアップグレードを実行する場合は、[Cisco EPN Manager 4.1 へのアップグレード \(高可用性\)](#) (3 ページ) を参照してください。

バックアップ/復元アップグレード (非 HA)

バックアップ/復元アップグレードでは、現在インストールされている Cisco EPN Manager バージョンのすべてのデータをバックアップし、新しいサーバに Cisco EPN Manager 4.1 をインストールして、新しい Cisco EPN Manager 4.1 サーバにバックアップしたデータを復元します。これは推奨されるアップグレード方法です。

はじめる前に

- 新しいサーバがバックアップ元のサーバと同じハードウェア仕様であることを確認します。
- 以前のサーバが使用するリモートバックアップリポジトリの場所に注意してください。新しいサーバと同じバックアップ場所を設定する必要があります。

ステップ 1 新しいサーバで、「[Cisco EPN Manager 4.0 のインストール \(非 HA\)](#)」の手順に従って Cisco EPN Manager 4.1 をインストールします。

ステップ 2 『[Cisco Evolved Programmable Network Manager User and Administrator Guide](#)』のリモートバックアップリポジトリに関するトピックに記載されているように、以前のサーバと同じリモートバックアップリポジトリを使用するように新しいサーバを設定します。

ステップ 3 『[Cisco Evolved Programmable Network Manager User and Administrator Guide](#)』のリモートバックアップリポジトリに関するトピックに記載されているように、リモートリポジトリのバックアップを新しいサーバに復元します。

Cisco EPN Manager 4.1 へのアップグレード (高可用性)

以降のトピックで、高可用性展開で Cisco EPN Manager 4.1 にアップグレードするための手順を示します。

[バックアップ/復元アップグレード \(高可用性\)](#)



(注) アップグレードが完了するまで、高可用性は機能しません。

バックアップ/復元アップグレード (高可用性)

HA 環境でのバックアップ/復元のアップグレードには、次の手順で詳しく説明する次の基本的な手順が含まれます。

1. HA を削除します。
2. データをリモートリポジトリにバックアップします。
3. プライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方で Cisco EPN Manager の新規インストールを実行します。
4. プライマリ サーバでバックアップデータを復元します。
5. HA を再設定します。

はじめる前に

- 展開が一般的な HA 要件を満たしていることを確認します。
- 展開が [Cisco EPN Manager 4.1 のインストールの前提条件](#) に記載されているアップグレード固有の要件を満たしていることを確認します。
- 新しいサーバが少なくともバックアップ元のサーバと同じハードウェア仕様であることを確認します。
- 以前のサーバが使用するリモートバックアップリポジトリの場所に注意してください (該当する場合)。新しいサーバと同じバックアップ場所を設定する必要があります。
- HA を有効にしたときに作成したパスワード (認証キー) があることを確認します。このパスワードは、セカンダリサーバで Cisco EPN Manager 4.1 のインストールを実行するために必要になります。

ステップ 1 プライマリ サーバで、高可用性設定を削除します。

1. 管理者権限を持つユーザとして Cisco EPN Manager にログインします。
2. [管理 (Administration)] > [設定 (Settings)] > [高可用性 (High Availability)] を選択します。
3. HA 設定を書き留めます。アップグレード後に HA を再設定するには、この情報が必要です。
4. 左側のナビゲーション領域で [HA 設定 (HA Configuration)] を選択し、[削除 (Remove)] をクリックします。
5. 削除操作が完了するまで待ちます。

6. 左側のナビゲーション領域で、[HA 設定 (HA Configuration)] をクリックし、[設定モード (Configuration Mode)] フィールドに [HA 設定なし (HA Not Configured)] が表示されていることを確認します。

ステップ 2 データをリモート リポジトリにバックアップします。『[Cisco Evolved Programmable Network Manager User and Administrator Guide](#)』のバックアップに関するトピックを参照してください。

- (注) リモート リポジトリがない場合は、リポジトリを設定します。『[Cisco Evolved Programmable Network Manager User and Administrator Guide](#)』のリモート バックアップ リポジトリに関するトピックを参照してください。

ステップ 3 高可用性展開での Cisco EPN Manager 4.1 のインストールの説明に従い、Cisco EPN Manager 4.1 を新しい 2 台のサーバにインストールします。

ステップ 4 インストールが完了したら、新しいプライマリサーバを設定して、以前のプライマリサーバと同じリモートバックアップリポジトリ (ステップ 2 で使用したリポジトリ) を使用します。『[Cisco Evolved Programmable Network Manager User and Administrator Guide](#)』のリモートバックアップリポジトリに関するトピックを参照してください。

ステップ 5 プライマリサーバ (のみ) で、リモート リポジトリからバックアップを復元します。『[Cisco Evolved Programmable Network Manager User and Administrator Guide](#)』のデータ復元に関するトピックを参照してください。

- (注) プライマリサーバでの復元操作の実行のみが必要です。HA が再び有効になると、セカンダリサーバはプライマリサーバと同期されます。

ステップ 6 プライマリサーバ:

1. サーバが再起動していることを確認します。
2. `ncs status` コマンドを実行して、ヘルスマニタプロセスとその他のプロセスが再起動したことを確認します。最低でもヘルスマニタ、データベース、NMS、SAMデーモン、DAデーモン、コンプライアンスエンジンの各サービスが稼働していることを確認します。最適な Cisco EPN Manager 機能を使用するには、すべてのサービスが稼働している必要があることに注意してください。

ステップ 7 プライマリサーバの `ncs status` 出力に **Compliance engine is stopped** が表示される場合は、次の操作を行います。

1. Cisco EPN Manager を停止します。

```
ncs stop
```

2. Linux CLI ルートユーザとしてログインします。
3. ソフトリンクを使用してタイムゾーンを更新します (次のコマンドは 1 行です)。

```
ln -sf /usr/share/zoneinfo/$(grep ^clock /storedconfig/active/startup-config | cut -d " " -f 3) /etc/localtime
```

ステップ 8 復元が完了したら、プライマリサーバでアップグレード後のタスクを実行します。「[アップグレード後のタスク](#)」を参照します。

ステップ 9 プライマリサーバにセカンダリサーバを登録して HA を再設定します。ステップ 1 で保存した情報を使用します。登録プロセスはプライマリサーバから実行する必要があります。詳細については、『[Cisco Evolved](#)

『[Programmable Network Manager User and Administrator Guide](#)』のプライマリ サーバへのセカンダリ サーバの登録に関する項を参照してください。

アップグレード後のタスク

- Cisco Smart Licensing を使用している場合、cisco.com の Cisco Smart Software Manager (CSSM) に、Cisco EPN Manager を再登録します。『[Cisco Evolved Programmable Network Manager User and Administrator Guide](#)』のライセンスの管理を説明するトピックを参照してください。
- すべてのデバイスのインベントリを次のようにデータベースと同期します。
 1. Cisco EPN Manager GUI で、[モニタ (Monitor)] > [ネットワーク デバイス (Network Devices)] を選択します。
 2. すべてのデバイスを選択し、[同期 (Sync)] をクリックします。
- アップグレードされた Cisco EPN Manager サーバへの接続を試行する前に、Cisco EPN Manager の以前のバージョンにアクセスしたすべてのクライアント マシンのブラウザ キャッシュをクリアするようにユーザに指示します。
- アップグレード前に外部 AAA を使用していた場合は、外部認証をもう一度設定します。『[Cisco Evolved Programmable Network Manager User and Administrator Guide](#)』のユーザ管理に関するトピックを参照してください。
- アップグレード中に、Cisco EPN Manager ホーム ページがデフォルトのホーム ページ ([はじめに (Getting Started)] ページ) にリセットされます。ユーザは、[はじめに (Getting Started)] ページまたはページの右上にある [設定 (Settings)] メニューから、独自のデフォルト ホーム ページを選択できます。

既存のタブの新しいダッシュレットは、アップグレード後に自動的に追加されることはありません。ダッシュレットはダッシュボードメニューの [Settings] > [Add Dashlet(s)] から手動で追加できます。

新しい [dashboard] タブが自動的に追加されます。

